

特集 命を守る防災教育  
～みんなで防災意識を高めよう～ P.2-3

2016年  
和歌山の中学生・高校生のきらめき! P.4-5

共育コミュニティは今[VOL.20]  
かつらぎ町 P.6

きのくに教育めぐり 橋本市 P.7

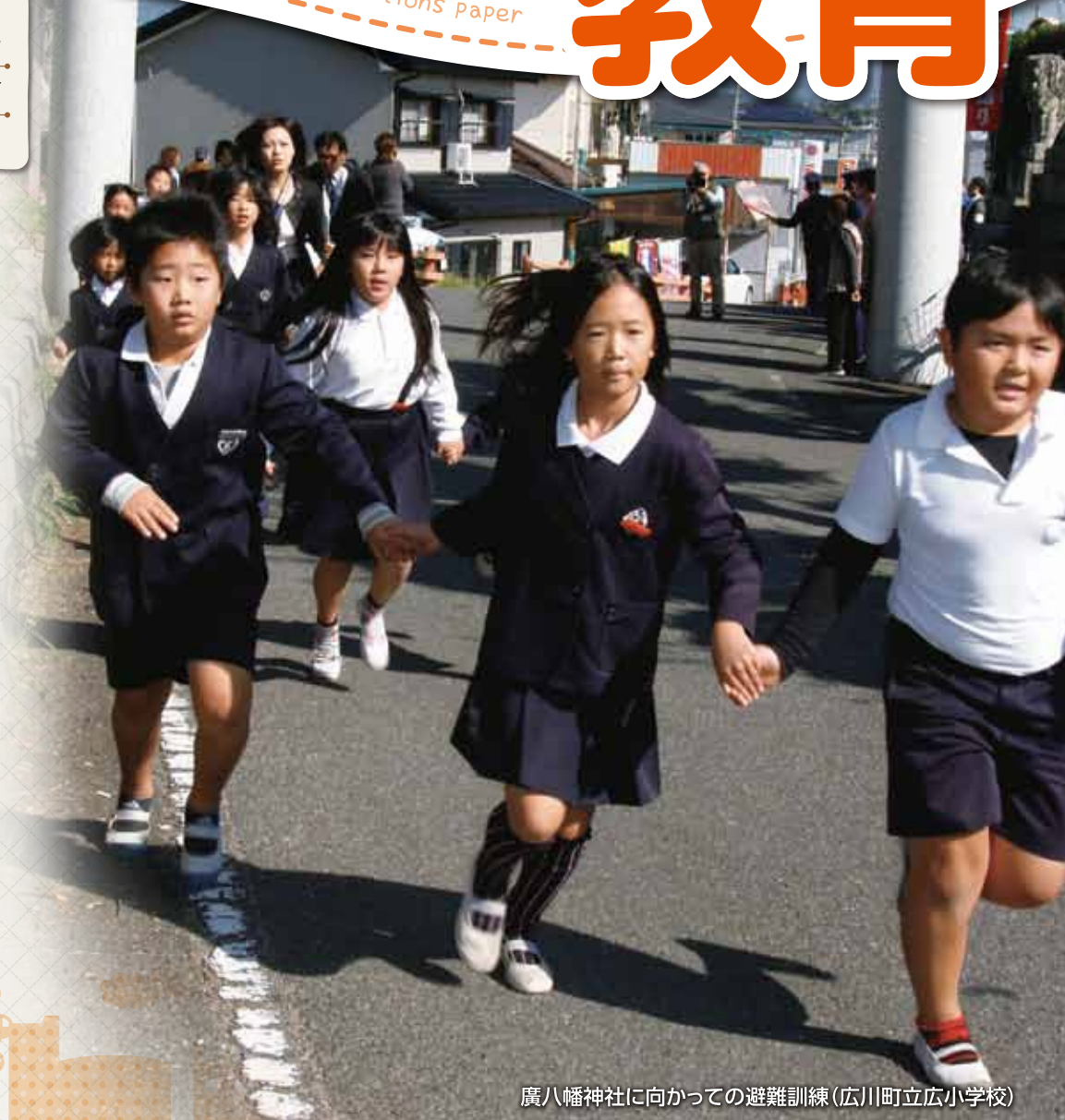
教育長エッセイ P.8

# 輝く! 紀の国の教育

Wakayama Prefecture  
education public relations paper

特集

## 命を守る防災教育 みんなで防災意識を高めよう



廣八幡神社に向かったの避難訓練(広川町立広小学校)

平成27年(2015年)12月の国連総会で、11月5日が「世界津波の日」として定められました。

11月5日は、江戸時代後期、安政南海地震による津波が和歌山県をおそった際に、稲の束に火をつけ村人を救った、濱口梧陵の「稲むらの火」の故事にちなんでいます。

この日にあわせて、津波防災の啓発活動が世界的に展開され、津波による犠牲者がなくなることが期待されています。



### 津波避難3原則

津波警報が発表されたら、迅速に高台など安全な避難場所へ避難しましょう!!

#### 津波避難 3 原則

- ① 想定にとらわれない
- ② 最善を尽くせ
- ③ 率先避難者になれ



片田敏孝 群馬大学大学院 教授 監修

### 津波てんでんこ

「津波てんでんこ」とは、三陸地方に言い伝えられている言葉であり、「てんでんこ」とは、てんでばらばらにという意味です。「津波の時は、まず自分の命を守ることを考えててんでんばらばらに必死に逃げる」と、そうすることで全員が助かる」という意味合いをもっています。

家族一人一人が、きちんと避難するという確信をもてるよう、家族で話し合って約束しておきましょう。